

第2期田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)概要版

【基本方針1】雇用の創出・就労促進 地域において安定した雇用を創出する

戦略の重点

- ◆基幹産業である農業、製造業などの地域産業の振興を図り、稼ぐ地域をつくる。
- ◆安定した雇用環境や機会の確保、新たな雇用創出につながる施策を推進する。
- ◆市内経済の循環性を高め、新たな産業の起きやすい環境を整備する。

方向性(抜粋)

- 臨海工業地帯等への積極的な企業誘致を図る。
- 臨海部の企業などが安心して操業できる環境を整える。
- 商品開発、販路開拓、人材育成などを通じて、ものづくりを中心として地域中小企業の更なる活性化を図る。
- 日本一の農業産地の活性化を図るため、技術や設備の高度化、海外市場への積極的展開、担い手の確保、6次産業化、農商工連携、ブランド化等に努める。
- 農業・漁業の担い手や高度な産業人材の育成、労働力の確保を進める。
- 渥美半島の豊富な観光資源を生かして、観光客の新たな獲得、リピート率の向上を図る。
- 一体的な観光戦略の展開である田原版DMO(官民協働型観光推進体制)を構築し、観光産業関連の雇用充実を図る。
- 女性の雇用促進及び創業につながる支援策を検討する。
- 商業・サービス業等の後継者の育成を図る。

具体的施策

- 創業支援 企業立地の推進・三河港の振興 農業後継者・新規就農者の確保・育成と労働力の確保
- 日本一の農業産地のインパクトを生かした新たな農畜水産業の展開 観光地域づくり
- 道の駅の魅力向上 サンテパークたはらの新たな魅力づくり

【基本方針2】定住・移住促進 人口の流出を防止するとともに、移住を促進する

戦略の重点

- ◆臨海企業従事者等の市内定着・定住・移住促進を図る。
- ◆美しい自然や地域産業の魅力を発信し、つながりを築き、仕事や雇用の確保、住環境・教育環境などの充実を通じて、田原市へのUIターンを進める。
- ◆ふるさとへの愛着と誇りの醸成を図り、若い世代が田原市で暮らしたいという希望を実現する施策を推進する。

方向性(抜粋)

- 市内の事業所に勤める従業員等の居住先候補地となる市街地などの利便性や居住基盤を整える。
- 市街化区域に隣接したエリアにおいて、新たに必要な住宅用地の確保を進める。
- 空き家・空き地対策による宅地等の流動化を推進する。
- 地域の拠点となる市街地の活性化、交通の利便性を高め、住み続けられるコミュニティの形成を目指す。
- 海や山など豊富な自然が身近な住環境の魅力を発信し、首都圏をはじめ全国からのUIターンを進める。
- ふるさと教育等を実施し、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りの醸成を図り、若者の転出抑制・Uターンにつなげる。
- 地元の教育機関と地域が連携し、地域全体で子育てに参画する体制を構築する。
- 子どもたちの地元の高校や大学への進学率、就職率を高め、地元で暮らしたいという希望を実現する。
- サーファーやアウトドア志向の若者等に対して、空き家や仕事の紹介などを通じて、交流人口を関係人口につなげ、定住人口に誘導する施策を進める。

具体的施策

- 若者・臨海企業従事者等の市内定着・定住・移住促進 サーファー等の移住促進 空き家等活用推進
- ふるさと教育等の充実 コミュニティ・スクールの取組推進

【基本方針3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 切れ目のない子育て支援で若者の希望をかなえる

戦略の重点

- ◆基幹産業である農業や製造業などに従事する結婚を希望する方に対し、結婚支援を推進する。
- ◆妊娠～出産～育児～義務教育期間だけでなく、関係機関・地域が連携し、地域ぐるみで安心して子育てできる環境を整備する。

方向性(抜粋)

- 結婚相談や婚活イベント・セミナーなどを行うほか、地元の団体等が企画する婚活イベントを支援する。
- 妊娠期から子育て時期におけるサポート体制の充実を図る。
- 安心して子どもを育てることができるよう、子育て環境や支援サービスの充実を図る。
- 女性の働きやすい環境整備や家庭と仕事の両立を後押しする施策を推進する。
- 子どもたちの教育環境の充実を図る。
- ふるさと教育等を実施し、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りの醸成を図り、若者の転出抑制・Uターンにつなげる。〔再掲〕
- 就学相談・子育てに関する悩みや不安などを解消するため、専門家による相談窓口を設置し、幼少期から壮年期まで切れ目のないサポート体制を充実させる。
- 地元の教育機関と地域が連携し、地域全体で子育てに参画する体制を構築する。〔再掲〕

具体的施策

- 結婚・出産支援 医療体制の充実(産婦人科・小児科) 子育て支援
- ふるさと教育等の充実〔再掲〕 コミュニティ・スクールの取組推進〔再掲〕

【基本方針4】地域の魅力・住み良さの向上 「安心して住める」「住んで楽しい」まちづくり

戦略の重点

- ◆拠点となる市街地の活性化や幹線道路、公共交通など交通基盤の充実等により、周辺地域などの住み良さ向上を図る。
- ◆ひとが集う、魅力的な地域をつくる。 ◆戦略的なシティセールスを推進する。

方向性(抜粋)

- 市街地の活性化を図る。
- 市街化区域に隣接したエリアにおいて、新たに必要な住宅用地の確保を進める。〔再掲〕
- 地域ニーズに応じた市コミュニティバスの運行など公共交通の機能向上を図る。
- 田原市の魅力や価値、ブランドを積極的に市内外へ発信し、知名度向上やイメージアップを図る。
- 各種スポーツを通じて、元気なまちづくりを進める。
- 太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルート指定を目指し、自転車の走行環境、サイクリストの受入環境、魅力づくりに取り組む。
- 国内外からの交流活性化により、インバウンド獲得など経済活動を促進する。
- 地域コミュニティ活動や市民活動などの市民協働を促進する。
- 地域医療体制の維持・継続、健康都市の取組推進、地域包括ケアシステムの充実を図る。

具体的施策

- 市街地の活性化 公共交通ネットワーク確保・維持 空き家等活用推進〔再掲〕 戦略的なシティセールス
- 観光地域づくり〔再掲〕 地域医療体制の維持・継続(地域医療) 健康づくりに必要な環境の整備
- 地域包括ケアシステムの充実 広域連携による持続可能な地域づくり